

発言No. 5

受付No. 5

令和8年6月5日

9時 27分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 地域計画のブラッシュアップ（改善）について

- ① 地域計画では、10年後の耕作者を特定できない農地、いわゆる白地農地は全国で3割を超えている。実際にはもっと多いと見られ、耕作放棄地につながらないよう、多様な担い手の確保と農地の集約が重要となる。農林水産省は、市町村に地域計画の内容のブラッシュアップを促すとともに、白地農地の解消に努める方針であるが市の状況を伺う。

- ② 地域計画の課題を伺う。

- ③ 農地中間管理機構（農地集積バンク）の市の状況を伺う。

- ④ 農地中間管理機構（農地集積バンク）の現在の課題を伺う。

(2) 91農業について

- ① 暮らしに農業を1割取り入れる新たな生活様式をJA全農が提唱し、異業種やJA準組合員らの農業参画で労働力を確保しようとするものである。91農業について市の考えを伺う。

(3) 小規模農家の支援について

- ① 小規模農家が地域を支えている実態であると感じている。兼業農家や半農半X、小規模農家向けの支援について市の状況を伺う。

- ② 将来的な市の考えを伺う。

(4) ドローンの複雑、多様な許認可手続きについて

- ① ドローンは今や農業に欠かせない存在だが、飛行させるには許認可など必要な手続きも多い。農業者にとって大きな参入障壁となっていると感じるが市の考えを伺う。

- ② ドローンの安全対策について伺う。

(5) 農作業死亡事故の急増について

- ① 農作業事故の件数が発表され、死亡者は過去最多で大きく悪化している。10 万人当たりの死亡者は、建設業の 3 倍、全産業平均の 13 倍と高い水準であり、農機が関わる事故が最も多く 54%を占めている。命を守る対策は重要だが、市の考えを伺う。

(6) 小中学校での農業体験について

- ① 子どもたちが農業体験を体験することにより、命を育む農業がいかに大事な仕事かを理解し、未来の担い手育成にもつながると感じる。小中学校での農業体験の状況を伺う。

- ② 将来的な市の考えを伺う。

2 フードツーリズムについて

- ① フードツーリズムは、地域の食資源を生かす観光の在り方を探るもので、観光を通じて食に光を当てることは、生産現場への関心を高め、新たな接点を生み出す。フードツーリズムは、観光資源と農林水産業振興を同時に実現する有効な手法であるが、市の考えを伺う。